

伝道者の書 11:7-12:14 意義ある人生を生きる

今日は、教会とその家族の中で卒園、卒業を迎える人たちを覚えお祝いします。私たち誰もがその成長する中で通るいわば通過点を祝うものです。そこで、今日は特に若い人たちに向けて語りたいたと思いますが、若者たちだけに限らず、彼らより年上の方々にも神のみ言葉から祝福となることをお話しすることをお約束します。今日は、普段あまり見ることのない伝道者の書を見ていきたいと思います。伝道者の書 11:7 からこの書の最後の 12:14 までの部分を見ます。今日、伝道者の書に記されているすべてのテーマに触れませんが、この書を聖霊の靈感のもとに記したソロモンが伝えたかったことの一つは、人生は短く、その中により大きな目的がなければ、死という現実が、私たちの行動をそれだけでは無意味なものにしてしまうということです。皆さんの中には「高校や大学、これからのキャリアについて考えるとき、なんてインスピレーションに溢れる考えなんだ」と思う方もおられるでしょう。そしてそれは、私たちがイエスを自分の人生の中心に据え、正しく生きることから得られる目的と意味から離れるとき、恐ろしい現実となるでしょう。伝道者の書のこの箇所で見ると、自分自身と今のためだけに生きる人生は無意味けれども、人生を神のために生きるとき、永遠の目的を得ることができるということです。

ほとんどの人が人生を楽しみたいと思っています。クリスチャン生活は悲惨で苦しみに満ちたもので、死んだ後に初めて本当の喜びを得て、天国で幸せを味わうことができるといったイメージを私たちは持ちがちです。そして、クリスチャンであることは何らかの痛みや迫害をもたらすと言われていうことは事実ですが、人生は喜びをもって生きることができるとも示されています。それこそが、伝道者の書の著者が、神に従って人生を喜ぶことで意義ある人生を生きることを励まし、示していることです。伝道者の書 11 章 7-10 節にそのことが記されています。「**光は心地よく、日を見ることは目に快い。8 人は長い年月を生きるなら、ずっと楽しむがよい。だが、闇の日も多くあることを忘れてはならない。すべて、起こることは空しい。9 若い男よ、若いうちに楽しめ。若い日にあなたの心を喜ばせよ。あなたは、自分の思う道を、また自分の目の見るとおりに歩め。しかし、神がこれらすべてのことにおいて、あなたをさばきに連れて行くことを知っておけ。10 あなたの心から苛立ちを除け。あなたのからだから痛みを取り去れ。若さも青春も空しいからだ。**」この聖書箇所は地上の人生における悲惨さを描いているわけではありません。むしろ、楽しむべき人生を描いています。まるで人生の毎日が、神が私たちの楽しみのために与えてくださった、明るく晴れた日であるかのようにです。ですから、人生が自分の思い通りにならないといつも落ち込んで、ただ存在するだけではなく、一日一日を「**ずっと楽しむ**」のです。もちろんそれは、悲しみや苦しみが現実であることに目を背け、極端に楽観的な世界観を持つということではありません。8 節には、もちろん人生に良いことがあり、その日々を喜ぶ一方で、「**闇の日も多くある**」とあります。ですが、そのような困難な時が、神が私たちのために造ってくださった人生に見出す喜びを奪うことがあってはなりません。では、どうすればよいのでしょうか。学校でのプレッシャー、両親との関係、友人との関係、成長とともに心や体に起こる変化などを乗り越えていく中で、若者であるあなたは、どうやって今の状況に喜びを見いだすことができるのでしょうか。今日の箇所の最初の部分では、神様に従って人生を楽しむ方法について、二つの答えが示されています。

最初の答えは、今を満足して生きるということです。9 節にそのことが書かれています。「**9 若い男よ、若いうちに楽しめ。若い日にあなたの心を喜ばせよ。あなたは、自分の思う道を、また自分の目の見るとおりに歩め。**」人生の次のステージのために生きている若者があまりにも多くいます。皆さんの中にもそうした人がいるかもしれません。若さを喜ぶことも、人生の今という時に喜びや楽しみを見いだすこともありません。いつも今日以外のところに目を向けています。行きたい高校に入ったら、行きたい大学に入ったら、親の支配下から解放されたら、自分でお金を稼げるようになったら、その時、人生を本当に楽しめるんだ。好きな人とデートできるようになったら、結婚したら、車の運転ができるようになったら、その時、本当の意味で生きることができると。ですが、神のみ言葉はそれとは違った姿を描いています。人生においては、日々、特に若い時には、「**自分の思う道を、また自分の目の見るとおりに**」自分の夢を追い求めるべき

です。ですが、そうしている間にも神があなたに与えてくださる一日一日を大切にすべきです。また、日々見いだすべき喜びに加えて、この箇所では夢や情熱を追い求める際に神が与えておられる制限や指針について述べられています。9節の終わりに「しかし、神がこれらすべてのことにおいて、あなたをさばきに連れて行くことを知っておけ。」とあることに注目してください。私たちの選択、人生において追い求める望みや情熱は、すべて永遠を意識したものであるべきです。皆さんは造られた存在ですが、ただお父さんとお母さんによってではありません。神様が皆さんを造られたのですから、皆さんが人生をどう生きたかを判断するのは神様です。ですから、将来のことだけを考えるのはやめて、今日、神様の前にいる自分、そして神様があなたを置かれた場所に満足しましょう。そしてその中で、創造主の前にある永遠の結果を見据えて、将来についての選択をしましょう。

神に従って人生を喜ぼうとするなら、この答えの二つ目の部分は、罪から解放されて生きなければならないということです。10節はこのように始まっています。「あなたの心から苛立ちを除け。あなたのからだから痛みを取り去れ。」10節にある痛みという言葉は本来ヘブル語では悪や罪を意味する言葉です。ですから、この箇所は文脈上、私たちの生活から罪を取り除くようにと言っています。私たちは皆、実際に満足して生きることを妨げ、神様が与えてくださる人生を楽しむことを妨げる、罪という大きな問題を抱えています。神様は私たちの選択に基づいて裁かれますが、当然ながら私たちの選択は原罪ゆえに生まれながら持つ罪と、同時に私たちの選択による罪とに基づいたものです。ローマ人への手紙 3:10-11 は「義人はいない。一人もいない。11 悟る者はいない。神を求める者はいない。」と、このことを明確に示しています。ですから、私たちは生活の中で罪と戦う必要がありますが、皆罪を抱えているので、それは大変なことです。そもそも罪こそが、命の短さや避けることのできない死について、私たちに不安を抱かせる原因です。そして、人生においてこのことを見誤ると、永遠に続く結果をもたらすことになります。私たちが自分の人生にある罪の問題に気づかず、神に従うのではなく世に従って生きるなら、別の言い方をすれば、神のみ言葉に従うのではなく、自分の欲望のために生きるなら、教会やできれば家庭で教えてもらうことは無意味です。それは、10節の終わりにあるように、そのような生き方をしているあなたの人生は空しいものだからです。ですからパウロはテモテへの手紙 第一 1:18-19 で、若者テモテにそのような生き方をせぬようにと警告しているのです。「私の子テモテよ。以前あなたについてなされた預言にしたがって、私はあなたにこの命令を委ねます。それは、あなたがあの預言によって、信仰と健全な良心を保ち、立派に戦い抜くためです。19 ある人たちは健全な良心を捨てて、信仰の破船にいました。」子どもたち、10代の皆さん、若い皆さん、皆さんが成長し、自分のために生き、罪のために生き、永遠を考えずに欲望を求めて生きることで、教えられた信仰の破船に会うのを私は見たくありません。意義ある人生を見つけるためには、罪から解放され、永遠を見据え、神様に従って人生を楽しむべきです。ですが、罪はそれを不可能にします。しかし、罪に対する解決策は、意義ある人生を見つけるということは、若いうちに神に立ち返ることを意味するということです。12章 1-8節を見てください。「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。わざわいの日が来ないうちに、また「何の喜びもない」と言う年月が近づく前に。2 太陽と光、月と星が暗くなる前に、また雨の後に雨雲が戻って来る前に。3 その日、家を守る者たちは震え、力のある男たちは身をかがめ、粉をひく女たちは少なくなつて仕事をやめ、窓から眺めている女たちの目は暗くなる。4 通りの扉は閉ざされ、臼をひく音もかすかになり、人は鳥の声に起き上がり、歌を歌う娘たちはみな、うなだれる。5 人々はまた高いところを恐れ、道でおびえる。アーモンドの花は咲き、バッタは足取り重く歩き、風鳥木は花を開く。人はその永遠の家に向かって行き、嘆く者たちが通りを歩き回る。6 こうしてついに銀のひもは切れ、金の器は打ち砕かれ、水がめは泉の傍らで砕かれて、滑車が井戸のそばで壊される。7 土のちりは元あったように地に帰り、霊はこれを与えた神に帰る。8 空の空。伝道者は言う。すべては空。」11章の終わりにあった、神に従って人生を楽しむことにつながる、一つの命令がここで与えられています。一つだけです。「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。」創造主である神に立ち返ること、それが罪への解決策です。私たちの人生における神様の御心と目的に従うのです。それができる唯一の道は、罪を悔い改め、イエス・キ

リストを信じることです。ですからイエスはヨハネの福音書 14:6 で次のように言うことができたのです。「イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」」ですが、ソロモンがここで最も言いたかったことはこのことです。人生の終わりになるまで神に立ち返るのを先延ばしにしてはなりません。ジョン・パイパーは「人生を無駄にするな」という著書の中で、このことを非常に簡潔に述べています。今日ここで私の説教を聞いている皆さんは、若いうちに福音を聞くという、ご両親が与える最大の贈り物を与えられています。若いうちに神様に応答し、将来にわたって続く心の痛みや傷をもたらす罪を避ける機会を与えられているのです。「わざわざの日は来ないうちに、また「何の喜びもない」と言う年月が近づく前に。」とある 1 節の後半から、「霊はこれを与えた神に帰る。」とある 7 節までには、老いのプロセスが描かれています。2 節では、見えるものが暗くなり曇っていくように、視力が衰えていくのを見ます。3 節では、加齢により神経や筋肉が衰え、体が震え、腰が曲がり、歯が抜け落ちたりするのを見ます。耳も遠くなり、以前は何でも聞こえていたのに、4 節にあるように、聞きたい事との間に扉が閉ざされたかようになります。それにも関わらず、そこに記されているように、休まることもできず、鳥の鳴き声さえ私たちを目覚めさせます。5 節では、物事を理解する力が衰え、性的欲求も能力も低下し、不安が増すことが語られています。そしてついに、ある日すべてが終わりを告げ、器は打ち砕かれ、ひもは切れ、水がめは砕かれ、滑車が壊されて人生が終わります。「**霊はこれを与えた神に帰る。**」のです。大切なのは、待つてはならないということです。神様があなたに力と若さを与えられたのには理由があります。与えられた若さという賜物をもって神様に仕えることに喜びを見いだすためです。高校や大学を卒業するまで、結婚するまで、子どもができるまで、あるいは定年退職するまで、イエス・キリストを通して神様を知り、創造主である神に栄光を帰すことを先延ばしにしてはいけません。今がその時なのです。自分の人生をお金や教育、家庭を築くことに費やすことを選ぶこともできますし、そのどれも意味ある事です。ですが、神をまず求めることなしにそれらを行うことは、全てを無意味なものにしてしまいます。伝道者ソロモンが言うところの空しいことです。意義ある人生を喜ぶことは可能ですが、それはあなたが神を創造主として認め、イエス・キリストを通して神を知ろうとすることによって初めてもたらされるものです。では、ひとたび神を知り、若者として神を求め続けるには、また私たち皆が生涯を通して神を求め続けるにはどうすればよいのでしょうか。私たちはその意義ある人生を、神のみ言葉の真理という正しい源に立ち返ることによって見いだすのです。伝道者の書 12:9-14 を見てください。「**9 伝道者は知恵ある者であった。そのうえ、知識を民に教えた。彼は思索し、探究し、多くの箴言をまとめた。 10 伝道者は適切なことばを探し求め、真理のことばをまっすぐに書き記した。 11 知恵のある者たちのことばは 突き棒のようなもの、それらが編纂された書は よく打ち付けられた釘のようなもの。これらは一人の牧者によって与えられた。 12 わが子よ、さらに次のことにも気をつけよ。多くの書物を書くのはきりがない。学びに没頭すると、からだが疲れる。 13 結局のところ、もうすべてが聞かされていることだ。神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。 14 神は、善であれ悪であれ、あらゆる隠れたことについて、すべてのわざをさばかれるからである。」**ここには、伝道者の書の著者である伝道者、つまりソロモン王についての個人的な詳細が記されています。彼は箴言も記したこともわかっています。その彼が言いたかったのは、真の知恵、絶対的な真理は、イスラエルの羊飼い、つまり神ご自身の内にしかないということのようです。この世には多くの知恵の源と道があります。12 節で「**多くの書物を書くのはきりがない。学びに没頭すると、からだは疲れる。**」ソロモンが言っている通りです。教育を受ける中で、それらは良いことかも知れませんが、ある意味必要なことかもしれませんが、それらの本や情報源で示されている真理や考え方は、あなたを神様のもとに導くものではなく、むしろ真理の欠如によってあなたを神様から引き離すものとなります。神様は一冊の書物を記されました。聖書です。創造主を知る方法、今日喜びを見いだすために創造主がどのように生きることを私たちに望んでおられるのかを知る方法、創造主との関係を持つための方法は、神のみ言葉にしか見つけることができません。確実にやってくる死を前にして意義ある人生を生きるにはどうすればよいか、この箇所だけではなく、この書全体においてすべてが語られたとき、13 節に次の言葉を見ます。「**神を恐れよ。神の命令**

を守れ。これが人間にとってすべてである。14 神は、善であれ悪であれ、あらゆる隠れたことについて、すべてのわざをさばかれるからである。」私たちは神の戒めと、み言葉を通して神が何を期待しておられるのかを知ります。そのみ言葉は、伝道者ソロモンよりも偉大な方がおられることを教えてくれます。最も偉大な知恵をもち、神の真の知識への唯一の道である方、それがイエス・キリストです。ですから、ここにおられる子どもたち、10代の人たち、若者たち、そして大人たち、皆さんが人生のどの段階にいるにせよ「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚える」ことに早いも遅いもありません。私たちがいつかその前に立ち、この世の王として、また主として申し開きをする方であるイエス・キリストを通して、神様に近づき覚えましょう。イエス・キリストは皆さんが創造主を知ることができるよう、皆さんのために死んでくださいました。イエスを知っていますか。イエスはあなたの主であり、救い主でしょうか。先延ばしにしてはいけません。この地上で人生がどれだけ続くのか、あなたは決して知ることがありませんし、イエスを知ることなしに永遠も意味を持たないからです。祈りましょう。

Ecclesiastes 11:7-12:14 Living a Meaningful Life

Today, we celebrate and honor those in our church or extended church family who are graduating from some level of education. We are in a sense honoring this process of aging and growth that takes place and is necessary in all of our lives. So, I wanted to take this opportunity to speak especially to young people today, but as I speak to young people, I promise those of us who are older than young will benefit from God's Word as well. Today, I want to go to a book that we don't often look at, the book of Ecclesiastes. And I want to look at the last two chapters of this book from Ecclesiastes 11:7 to the end of the book, 12:14. I'm not going to look at all the themes in the book of Ecclesiastes today, but one of the points that the author Solomon under the inspiration of the Holy Spirit makes throughout the book is that life is short and the fact of death makes our actions on their own apart from some greater purpose, meaningless. I'm sure some of you are thinking, "wow, what an inspirational thought as I think about highschool or college or even a career!" And that would be a horrible reality apart from the purpose and meaning that comes when we rightly order our lives and center them around Jesus. That is what we see throughout this passage from Ecclesiastes, that while life is shown to be meaningless lived just for yourself and the present, it gains eternal purpose when lived for God.

Now most of us want to enjoy our life. Too often, we paint a picture of the Christian life that is misery and suffering and only after death can we be truly joyful and experience happiness in Heaven. And while it is true that we are told that to be a Christian will bring suffering and persecution to an extent, we are also given a picture that life is meant to be lived with joy. That is the picture that the author of Ecclesiastes paints for us as we are encouraged to **live a meaningful life by Enjoying Life God's Way**. We see this in verses 7-10 of Ecclesiastes 11. **⁷Light is sweet, and it is pleasant for the eyes to see the sun.**

⁸So if a person lives many years, let him rejoice in them all; but let him remember that the days of darkness will be many. All that comes is vanity.

⁹Rejoice, O young man, in your youth, and let your heart cheer you in the days of your youth. Walk in the ways of your heart and the sight of your eyes. But know that for all these things God will bring you into judgment. ¹⁰Remove vexation from your heart, and put away pain^[c] from your body, for youth and the dawn of life are vanity. This passage of scripture is not painting an ugly picture of life on this earth. Instead it paints of picture of life that should be enjoyed. It is as if every day of our lives is this bright beautiful sunny day that God has given us for our enjoyment. So, rather than just existing our way through life, always depressed that life isn't what you want it to be, we are to come into each day and "**rejoice in them all.**" Of course this isn't some sort of overly optimistic view of the world that refuses to see that grief and pain are real. Verse 8 points out that of course while seeing the good in our lives and rejoicing in those days, "**the days of darkness will be many**" in our lives. But those difficult times should not destroy the joy we find in the life that God has created for us. So, how do we do that? How do you as a young person find joy in your current circumstances, as you are navigating the pressures of school, the relationship with your parents, the relationships with friends and changes that are happening in your body and your mind as you grow? This first part of today's passage gives us two answers to how to enjoy life God's way.

The first answer is to live contented in the moment. Verse 9 spells this out for us.

⁹Rejoice, O young man, in your youth, and let your heart cheer you in the days of your

youth. Walk in the ways of your heart and the sight of your eyes. There are too many young people, maybe some of you, that are just living for the next stage of your life. You are not rejoicing in your youth and finding delight and joy in this stage of your life. You are always focusing anywhere but today. When I get into the highschool of my choice or the college of my choice or I get out from under my parents rules or I can start earning money, that's when I can really enjoy life. When I can date, or get married or drive, that's when I can begin to really live. But God's Word paints a different picture. Everyday of your life and especially while you are young should be spent pursuing your dreams, "**the ways of your heart and the sight of your eyes.**" But while you do that, you should not miss out on each day that God has given you as a gift. But in addition to that joy you should seek to find in each day, there is a limitation or a guideline that God gives in this passage to pursuing that dream and passion. Notice the end of verse 9 **But know that for all these things God will bring you into judgment.** The choices you make, the desires and passions that you go after in your life should all be done with the eternal in mind. You are a created being, and not just by your mom and dad. God created you and therefore will be your judge of how you lived your life. So stop just thinking about the future and be content with who you are before God today and where he has you. And while you are doing that make choices for your future with the eternal consequences before your creator in mind.

If you are going to do this, enjoy life God's way, then *the second part of this answer is that you must live free from sin.* Verse 10 begins, **¹⁰ Remove vexation from your heart, and put away pain from your body...** The word for **pain** in verse 10 is actually the word for evil or sin in Hebrew, so in context the verse is telling us to get rid of sin in our lives. All of us have one major problem that keeps us from actually living contented, that keeps us from enjoying life that God puts before us, and that is sin. God will judge us based on our choices, but naturally our choices are based on sin from birth because of original sin, but also because our choice to sin. **Romans 3:10-11 tells us this clearly, 10 as it is written: "None is righteous, no, not one; 11 no one understands; no one seeks for God.** So, we need to fight against sin in our lives, but that is challenging since all of us have sin. Sin is what causes our anxiety at the shortness of our life and the inevitability of death in the first place. And getting this focus wrong in our lives can have eternal consequences. If you and I don't see the sin in our lives and seek to live in God's way rather than the world's way, in other words live by God's Word instead of for our own desires, then all the teaching that you receive at church and hopefully at home from your parents means nothing because your life spent living in that way is "vanity" as verse 10 ends. This is why Paul warns the young man Timothy against living in this way in **1 Timothy 1:18-19. This charge I entrust to you, Timothy, my child, in accordance with the prophecies previously made about you, that by them you may wage the good warfare, ¹⁹ holding faith and a good conscience. By rejecting this, some have made shipwreck of their faith...** Children, teenagers, young adults, I do not want to see you make shipwreck of the faith you have been taught because you grow up and live for yourself, live for sin, live seeking your desires with no view of the eternal in mind.

So to find a meaningful life, we need to enjoy life God's way, free from sin and living in light of eternity. But sin makes that impossible. The solution to that sin, though, is that **finding a meaningful life will mean turning to God while you are young.** Look at chapter 12, verses 1-8. **12 Remember also your Creator in the days of your youth, before the evil days come and the years draw near of which you will say, "I have no pleasure in**

them”;² before the sun and the light and the moon and the stars are darkened and the clouds return after the rain,³ in the day when the keepers of the house tremble, and the strong men are bent, and the grinders cease because they are few, and those who look through the windows are dimmed,⁴ and the doors on the street are shut—when the sound of the grinding is low, and one rises up at the sound of a bird, and all the daughters of song are brought low—⁵ they are afraid also of what is high, and terrors are in the way; the almond tree blossoms, the grasshopper drags itself along,^[a] and desire fails, because man is going to his eternal home, and the mourners go about the streets—⁶ before the silver cord is snapped, or the golden bowl is broken, or the pitcher is shattered at the fountain, or the wheel broken at the cistern,⁷ and the dust returns to the earth as it was, and the spirit returns to God who gave it.⁸ **Vanity of vanities, says the Preacher; all is vanity.** He gives one command here that ties back to how we enjoy life God’s way at the end of chapter 11. It is one thing. **Remember also your Creator in the days of your youth...** That’s the solution to sin, we turn back to God our Creator. We submit ourselves to his will and purpose in our lives. And the only way we can do that is through repentance of our sin and faith in Jesus Christ. That’s why Jesus can say in **John 14:6**, **6 Jesus said to him, “I am the way, and the truth, and the life. No one comes to the Father except through me.** But the strongest point that Solomon is trying to make here is this. Don’t wait to turn to God later in life. **John Piper has very succinctly put it in a book, “Don’t waste your life.”** If you are here today listening to this message, you have been given the greatest gift your parents could ever give you – hearing the gospel message while you are young. You are being given the opportunity to respond to God now while you are young, to avoid some of the sin that can cause lasting heartache and damage in the future. From the second half of verse 1 where we read, **before the evil days come and the years draw near of which you will say, “I have no pleasure in them”...** to the end of verse 7 where we read, **the spirit returns to God who gave it...** we are reading a picture of the aging process. We see fading eyesight as what you see gets darker and cloudy in verse 2. We see the weakness of nerves and muscles as we age and we tremble in our movements or we are stooped over with age or our teeth even fall out as verse 3 says. Our hearing gets worse and where we used to hear everything, its now like doors are closed between us and what we want to listen to in verse 4. But then as it also points out, we don’t rest as well and even a sound like a bird wakes us up. Verse 5 talks about fears growing as our ability to understand certain things gets less, and sexual desire and ability decreases. And finally, one day everything will end, the bowl will break the cord will snap, the pitcher will shatter, the wheel will break and life will end. **The spirit [will return] to [the] God who [created] it.** And the point is this – don’t wait! God gave you strength and youth for a reason...to find joy in serving him with this gift of youth that you have been given. Don’t wait until you are out of high school, or out of college, or married, or have kids, or are retired to know God through Jesus Christ and bring glory to him as your Creator. Now, is the time! You can choose to spend your life focusing on money, or education or creating a family, and all of those have their place, but to do any of those things apart from seeking God first makes it all meaningless – a vanity as Solomon, the Preacher, says.

A meaningful life of joy is possible, but it will only come as you seek God as early as you come to recognize him as your Creator and seek to know him through Jesus Christ. But once you know him, how do continue to seek to know God as a young person and then for all of us, throughout your life? **We find that meaningful life by turning to the right source for meaning – the truth of God’s Word.** Look with me at these last few verses

of Ecclesiastes 12: 9-14. ⁹ Besides being wise, the Preacher also taught the people knowledge, weighing and studying and arranging many proverbs with great care. ¹⁰ The Preacher sought to find words of delight, and uprightly he wrote words of truth. ¹¹ The words of the wise are like goads, and like nails firmly fixed are the collected sayings; they are given by one Shepherd. ¹² My son, beware of anything beyond these. Of making many books there is no end, and much study is a weariness of the flesh. ¹³ The end of the matter; all has been heard. Fear God and keep his commandments, for this is the whole duty of man.^[c] ¹⁴ For God will bring every deed into judgment, with^[d] every secret thing, whether good or evil.

There are some personal details here about the author of Ecclesiastes, the Preacher, which we understand is King Solomon. We know that he also wrote the book of Proverbs. And what he seems to be saying is that real wisdom, absolute truth, is only found in what comes from Israel's Shepherd, in other words, God himself. So there are a lot of sources of wisdom and direction in this world. As he says here in verse 12, **Of making many books there is no end, and much study is a weariness of the flesh.** Those things can be good and in some way necessary as you get your education. But none of the truth or ideas presented in those books or those other sources will get you to God, and sometimes the lack of truth in them will lead you away from God. God wrote one book – right here! The Bible. The way that we know our Creator, the way that we know how he wants us to live our lives so that we find joy today, the way that we know even how to be in a relationship with him is only found in one place, the Word of God. When everything else has been said not just in this passage but in this entire book that explores how to make a meaningful life in the face of certain death, we read these words in verse 13. **Fear God and keep his commandments, for this is the whole duty of man.**^[c] ¹⁴ **For God will bring every deed into judgment, with every secret things, whether good or evil.** We know God's commandments and what God expects through his Word. And his Word tells us that there is one greater than Solomon, the Preacher. There is one in whom the greatest wisdom is found and the only path to true knowledge of God, and that is Jesus Christ. So child, teenager, young adult and adults in here today at whatever stage of life you find yourself at, it is never too late or too early to **12 Remember your Creator in the days of your youth.** You remember him, you draw near to him through Jesus Christ the one who we will stand before one day and give account to as king and Lord of this world. He died for you, so you could know your Creator. Do you know Jesus? Is he your Lord and your Savior? Don't wait, because you never know how long this life on earth will be, and there is no eternal meaning to it apart from knowing Him. Let's pray.